

研究発表プログラム

口頭発表時間	発表 9分 質疑討論 3分	ポスター発表時間	発表 1時間 掲示 2時間30分
--------	------------------	----------	---------------------

A会場 第1会議室 D会場 第4会議室
B会場 小講堂 K会場 講堂
C会場 第3会議室

9月30日（水）9:30～11:00

<B 小講堂>口頭発表

降雪（座長：椎名 徹）		
B1-01	日本海側における季節風型降雪と低気圧型降雪の発生割合の地域性	カ石國男○、北村卓也（弘前大学大学院理工学研究科）
B1-02	非接触手法による寒冷地と温暖地の冬季降水量計測値の比較	井上聡○、廣田知良、岩田幸良（独）農研機構 北海道農業研究センター）、小南靖弘、横山宏太郎（独）農研機構 中央農業総合研究センター北陸センター）、根本学（独）農研機構 北海道農業研究センター）
B1-03	アメダスデータを用いた着雪水の風況解析に与える影響評価ー風力発電への適用	森川浩司○（株式会社 工学気象研究所）、木村茂雄（神奈川工科大学）、佐藤威（防災科学技術研究所）、山岸陽一（神奈川工科大学）、小島徹也（株式会社 工学気象研究所）
B1-04	Zeを用いた降雪の鉛直プロファイル数値実験とレーダー観測との比較ー	中井専人○、本吉弘岐（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）、岩本勉之（北海道大学低温科学研究所）
B1-05	降雪粒子情報を取り入れた降雪状況表現の提案ー粒径・速度座標における降水粒子質量フラックスの中心ー	石坂雅昭○、中井専人（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）、熊倉俊郎（長岡技術科学大学環境・建設系）、椎名徹（富山工業高等専門学校電気工学科）
B1-06	鏡面冷却式露点計による雪結晶生成時の水蒸気量測定	村井昭夫○（石川県教育センター/北見工業大学大学院）、高橋修平、亀田貴雄（北見工業大学社会環境工学科）、皆巳幸也（石川県立大学生物資源環境学部環境科学科）、井端一雅（株式会社 山武）
B1-07	人工降雪装置における結晶成長の実験的検討ー雲水量の結晶成長への直接的寄与についてー	関光雄○、梅澤功一（株式会社 東洋製作所）、阿部修（独）防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）

9月30日（水）9:30～11:00

<C 第3会議室>口頭発表

雪氷化学（座長：倉元隆之）		
C1-01	長岡市周辺の積雪の過酸化水素および主要イオン濃度の分析	佐藤和秀○、小林祐介、志田八州太郎（長岡工業高等専門学校）
C1-02	青森県六ヶ所村における降水・降雪中ヨウ素濃度とその沈着量	赤田尚史○、柿内秀樹（財団法人環境科学技術研究所）、一戸孝暁、菅野邦昭、島長義（エンテックス（株））、久松俊一（財団法人環境科学技術研究所）
C1-03	富山県・立山の積雪中のO ₃ -a濃度の季節変化	長井宏介○、竹内望（千葉大学大学院理学研究科）
C1-04	札幌の積雪中炭素及びダスト濃度変化	青木輝夫○、朽木勝幸、庭野匡思（気象研究所）、本吉弘岐（雪氷防災研究センター）、兒玉裕二（低温科学研究所）
C1-05	北海道における湿性沈着成分のトレンド	野口泉○、山口高志（北海道環境科学研究所センター）
C1-06	西中国ドウンデで再掘削されたアイスコアの化学成分の変化	山本知聖○、藤田耕史（名古屋大学大学院環境学研究科）、竹内望（千葉大学大学院理学研究科）、三宅隆之、中澤文男（国立極地研究所）、五十嵐誠（理化学研究所）、佐藤和秀（長岡工業高等専門学校）、中尾正義（総合地球環境学研究所）
C1-07	氷点下温度域におけるメタン+エタン+プロパン混合ガスハイドレート生成系の相平衡条件	安田啓太○、小川裕之、大村亮（慶應義塾大学）

9月30日（水）9:30～11:00

<D 第4会議室>口頭発表

屋根雪（座長：高倉政寛）		
D1-01	ヒーターブレードを利用した雪下ろし装置の試み	清水敬生○、富田強（株式会社東京建設コンサルタント）、渡邊洋、福原輝幸（福井大学工学部建築建設工学科）
D1-02	雪止め付き塗装鋼板勾配屋根の屋根雪観測	伊東敏幸○（北海道工業大学）、曾屋光明（北長金日米建材（株））、苔米地司（北海道工業大学）
D1-03	屋根雪の挙動を考慮した木造住宅の耐震設計についてーその1ー解析による屋根雪の挙動と地震応答との関係ー	渡部大地○、千葉隆弘、苔米地司（北海道工業大学建築学科）、高橋徹（千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻）、植松武是（北海道立北方建築総合研究所）
D1-04	屋根雪の挙動を考慮した木造住宅の耐震設計についてーその2ー設計用積雪深に基づいた耐震設計法の提案ー	千葉隆弘○、渡部大地、苔米地司（北海道工業大学建築学科）、高橋徹（千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻）、植松武是（北海道立北方建築総合研究所）
D1-05	屋根の雪庇を防止する格子フェンスの効果（2008-2009年冬期）	川村文芳○（社団法人 北海道開発技術センター）、竹内政夫（NPO法人雪氷ネットワーク）
D1-06	勾配屋根の落雪抑制効果に関する研究	西村清志○、苔米地司、伊東敏幸、千葉隆弘（北海道工業大学）、高倉政寛（北海道立北方建築総合研究所）
D1-07	平成18年豪雪における住家被害の地域的分析	深澤大輔（新潟工科大学）

研究発表プログラム2

9月30日（水）11:00～12:00 （掲示：9:30～12:00）

<A 第1会議室>ポスター発表1

氷床		
P1-01	南極氷床コアの結晶亜粒界間方位測定	宮本淳〇(北海道大学低温科学研究所), Ilka Weikusat(アルフレッド・ウェーゲナー極地海洋研究所), 本堂武夫(北海道大学低温科学研究所)
P1-02	南極ドームふじ浅層氷床コア (DF2001) の統計解析	佐野清文〇(総合研究大学院大学複合科学研究科 大学院), 本山秀明, 東久美子(国立極地研究所/総合研究大学院大学複合科学研究科)
P1-03	南極ドームふじ氷床深層コアの化学基本解析について	本山秀明〇, 東久美子(国立極地研究所/総合研究大学院大学), 植村立(国立極地研究所/Laboratoire des Sciences du Climat et l'Environnement, France), 三宅隆之, 平林幹啓, 倉元隆之(国立極地研究所), 飯塚芳徳(北海道大学低温科学研究所), 鈴木啓助(信州大学理学部), 藤田秀二(国立極地研究所/総合研究大学院大学)
P1-04	衛星画像を使ったグリーンランド氷床裸水域の不純物分布の解析—スペクトル特性による表面条件の推定—	伊藤弘樹〇, 竹内望(千葉大学大学院理学研究科), 幸島司郎(京都大学野生動物研究センター), 植竹淳(国立極地研究所)
P1-05	MODIS による南極氷床表面温度と自動気象観測装置 AWS の比較検証	島田利元〇(千葉大学理学部地球科学科), 北山智暁(千葉大学大学院理学研究科), 西尾文彦(千葉大学環境リモートセンシング研究センター)
P1-06	衛星搭載型高度計 ICESat/GLAS による2003～2008 年の南極氷床表面高度変化の時空間特性	北山智暁〇(千葉大学大学院理学研究科), 中村和樹(独立行政法人 産業技術総合研究所), 直木和弘(独立行政法人 宇宙航空研究開発機構), 島田利元(千葉大学理学部地球科学科), 西尾文彦(千葉大学環境リモートセンシング研究センター)
P1-07	有限要素法による 3 次元氷床数値モデルの構築	山岸孝輝(国立環境研究所)

森林、雪渓、積雪分布

P1-08	北海道北部の強風寒冷山地における森林造成	野村睦〇, 高木健太郎, 北條元, 高橋廣行, 小塚力, 坂井勲, 伊藤欣也, 実吉智香子(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)
P1-09	2009 年 3 月に実施した立山・室堂平での積雪断面観測	飯田肇〇, 福井幸太郎(立山カルデラ砂防博物館), 長田和雄, 佐竹智樹(名古屋大学大学院環境学研究科)
P1-10	東北地方における 2008/09 冬季積雪水量分布と雪水総量—気候値による分布の特徴—	本谷研(秋田大学教育文化学部)
P1-11	新潟での降雪期における気温の水平分布に関するモデル間の比較	宮崎航〇(長岡技術科学大学 環境システム工学専攻 大学院生), 熊倉俊郎(長岡技術科学大学 環境・建設系 准教授), 本吉弘岐(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター), 中井専人(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 総括研)
P1-12	立山室堂平東端にある大型雪庇の研究	川田邦夫〇(富山大学名誉教授), 横山宏太郎(中央農業総合研究センター北陸研究センター), 飯田肇(立山カルデラ砂防博物館), 荻野和彦(滋賀県立大学名誉教授)

着氷雪		
P1-13	周期加熱による着雪除去技術の開発—その 2	上村靖司, 鈴木 善和, 菊入正浩, 鈴木直行〇(長岡技術科学大学)
P1-14	新雪としまり雪の落下による衝撃力について	松下拓樹〇, 上田真代, 坂瀬修, 松澤勝((独)土木研究所 寒地土木研究所), 齋藤佳彦((株)雪研スノーイーターズ)
P1-15	防波提灯台に成長する海水飛沫着氷の観測—浜益北防波堤 2007-2008, 2008-2009 冬期—	尾関俊浩〇(北海道教育大学教育学部札幌校), 玉手裕介(北海道教育大学教育学部岩見沢校), 安達聖(筑波大学数理解物質科学研究科), 田澤辰典(北海道浜益高等学校)
P1-16	海水飛沫着氷のブライン形成に関する実験的研究	坂本拓麻〇, 尾関俊浩(北海道教育大学), 安達聖, 巨瀬勝美(筑波大学)
P1-17	冬季北海道における気象予測・解析システム (NuMFAS) の適用可能性評価	橋本篤〇, 平口博丸, 麻生照雄(財団法人電力中央研究所)
P1-18	電線着雪体の滑り現象メカニズムに関する検討	佐藤研吾〇, 西原崇, 杉本聡一郎, 田中一成(電力中央研究所)
P1-19	新幹線台車着落雪の気象条件 (その 2)	穴戸真也〇, 鎌田慈, 栗原靖, 高橋大介, 飯倉茂弘((財)鉄道総合技術研究所), 安田馨観, 市原良和, 横山信行(JR 東日本研究開発センター)

雪氷物理

P1-20	人工氷晶雲における光散乱強度の測定	中西真純〇(富山大学大学院理工学教育部(理学)), 島田互(富山大学大学院理工学教育部(理学))
P1-21	レーザー干渉測長法による氷の微小変位計測技術の開発 IV	菅原亮太〇, 伊藤玲生, 安濃一樹, 木暮貴博, 大庭泰治(長岡技術科学大学大学院工学研究科 大学院生), 明田川正人(長岡技術科学大学大学院工学研究科 准教授), 高田守昌(長岡技術科学大学大学院工学研究科 助教), 東信彦(長岡技術科学大学大学院工学研究科 教授)
P1-22	氷の定常歪速度大歪変形における結晶集合組織発達	齋藤隼人〇(長岡技術科学大学大学院工学研究科 大学院生), 東信彦(長岡技術科学大学大学院工学研究科 教授)
P1-23	氷結晶粒成長におよぼす固体微粒子及び気泡の影響 II	筒井孝博, 宮腰努, 東信彦〇, 高田守昌(長岡技術科学大学機械系)
P1-24	放射冷却による無気泡・単結晶氷の生成条件—その 2—氷塊サイズの大型化—	上村靖司, 築瀬将〇, 山本俊輔(長岡技術科学大学)
P1-25	ラマン分光法による天然および人工ガスハイドレートの結晶構造推定の試み	山崎佑也〇, 八久保晶弘, 奥田充, 坂上寛敏, 南尚嗣, 山下聡, 高橋信夫, 庄子仁(北見工業大学), Oleg Khlystov(ロシア科学アカデミー陸水学研究所)
P1-26	バイカル湖 Goloustnoye Flare の天然ガスハイドレートのゲストガス同位体比	中畑良紹〇, 八久保晶弘, 小関貴弘, 坂上寛敏, 南尚嗣, 山下聡, 高橋信夫, 庄子仁(北見工業大学), Oleg Khlystov(ロシア科学アカデミー陸水学研究所)
P1-27	バイカル湖天然ガスハイドレート解離時の解離ガス組成の経時変化	遠藤晃人〇, 八久保晶弘, 奥田充, 坂上寛敏, 南尚嗣, 山下聡, 高橋信夫, 庄子仁(北見工業大学), Oleg Khlystov(ロシア科学アカデミー陸水学研究所)
P1-28	固体 ¹³ C NMR によるメタン-エタン混合ガスハイドレートの分解過程その場観察	木田真人〇, 神裕介, 大山裕之(独立行政法人 産業技術総合研究所メタンハイドレート研究センター), 坂上寛敏, 高橋信夫(北見工業大学マテリアル工学科), 長尾二郎, 海老沼孝郎(独立行政法人 産業技術総合研究所メタンハイドレート研究センター)

研究発表プログラム3

積雪の構造・物理		
P1-29	雪えくぼの発生パターンの動径分布解析	茂木智行○(富山大学大学院理工学教育部(理学)), 竹内由香里(森林総合研究所十日町試験地), 横山宏太郎, 小南靖弘(農研機構中央農業総合研究センター(北陸)), 飯田肇(立山カルデラ砂防博物館), 島田亙(富山大学大学院理工学研究所(理学))
P1-30	SNOWPACK によって再現された札幌の積雪状態	庭野匡思○, 青木輝夫, 朽木勝幸(気象研究所)
P1-31	積雪アルベド・反射率の不純物・層構造依存性	谷川朋範○(スティーブンス工科大学), 青木輝夫, 朽木勝幸(気象研究所), 八久保晶弘(北見工業大学), 杉浦幸之助(海洋研究開発機構)
P1-32	固有透過度と比表面積による雪質分類(3)ー積雪の微細構造を反映した雪質区分ー	荒川逸人○(野科科学株式会社/新潟大学大学院自然科学研究科), 和泉薫, 河島克久(新潟大学災害復興科学センター), 河村俊行(北海道大学低温科学研究所)
P1-33	各種ベーン試験器とシアフレームによる自然積雪の剪断強度測定比較	大場亜紀○, 高橋修平, 日下稜(北見工業大学)
P1-34	雪の熱的物性値の気候別分布	斉藤和之○(独立行政法人海洋研究開発機構地球環境変動領域/アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター), 山口悟(独立行政法人防災科学技術研究所雪氷防災研究センター), Michael Lehning(スイス国立雪・雪崩研究所), Martha Shulski(アラスカ大学フェアバンクス校地球物理学研究所)

凍土・凍上

P1-35	全球気候モデルの熱物理過程表現に対する高緯度土壌熱・水変動の感度実験ー気候値と年々変動ー	斉藤和之(独立行政法人海洋研究開発機構地球環境変動領域/アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター)
P1-36	長期観測に基づく積雪下の土の凍結融解特性ー凍土消失日とその長期傾向の推定ー	原田裕介○(岩手大学大学院連合農学研究科/株式会社 アルゴス 北海道支店), 土谷富士夫, 武田一夫, 宗岡寿美(帯広畜産大学)
P1-37	The Measured Frost Penetration Depth in Korea National Road	Seungseo Hong ○, Youngseok Kim, Jaemo Kang (Korea Institute of Construction Technology (KICT))
P1-38	GROUND CHARACTERISTICS IN THE ANTARCTIC AND ADFREEZE FORCE ON PILE FOUNDATIONS	Youngseok Kim ○, Seungseo Hong, Jaemo Kang (Korea Institute of Construction Technology (KICT))
P1-39	A Study on Frost Heave Susceptibility of Soil Mixed with Waste Glass	Jaemo Kang ○, Seungseo Hong, Youngseok Kim (Korea Institute of Construction Technology (KICT))
P1-40	細粒土の凍結特性と工学的性質との関係	堀家直也○(摂南大学大学院), 伊藤譲(摂南大学工学部), 嘉門雅史(京都大学大学院)
P1-41	シルトロームと砂、黒ボク土の一次元カラム凍結実験ー凍結面近傍の圧力変化と水分移動についてー	紀藤哲矢○, 渡辺晋生(三重大大学大学院生物資源学研究科)
P1-42	季節凍土帯の冬季地温変動に対する積雪の影響についてー2005~2008 年の3冬季における、札幌のデータからー	末吉哲雄○(東京大学気候システム研究センター), 澤田結基(産業技術総合研究所地質標本館 テクニカルスタッフ), 児玉裕二(北海道大学低温科学研究所)
P1-43	ツンドラ火災後のアラスカ・スワード半島での永久凍土の地温変動	原田鉦一郎○(宮城大学食産業学部), 澤田結基(産業技術総合研究所), 成田憲二(秋田大学教育文化学部), 斉藤和之, 福田正己(アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター)

交通施設管理		
P1-44	多極平板型冬期道路気象観測装置の開発とその特質(2)ー道路融雪システムの新制御方式の構築ー	山田忠幸○, 杉森正義(山田技研(株)), 竹内正紀(元福井大学工学部), 永井二郎(福井大学工学部)
P1-45	融雪装置の熱設計における残雪許容の効果	上村 靖司, 夏井佑○, 楠田 翼(長岡技術科学大学), 藤野丈志(株式会社興和)
P1-46	道路雪氷のすべり抵抗値と静摩擦係数の関係	小林俊市○, 佐藤威, 小杉健二, 望月重人(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
P1-47	ロータリ除雪車により投雪される雪の安息角	小林俊市(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
P1-48	北海道の高速道路における雪氷管理を高度化するための取り組みー道路画像配信システムー	大廣智則○, 外塚信(株式会社 ネクスコ・エンジニアリング北海道)
P1-49	吹き止め式防雪柵の忍び返しの有無による防雪効果の比較	山田毅○, 伊東靖彦, 松澤勝(独)土木研究所 寒地土木研究所
P1-50	東北新幹線八戸・新青森間における雪害対策の研究(1)ー一年最大積雪深の再現期待値からみた対策検討区間ー	野口守○, 小林等(鉄道建設・運輸施設整備支援機構), 藤井俊茂(鉄道総合技術研究所), 河島克久(新潟大学), 飯倉茂弘(鉄道総合技術研究所)
P1-51	東北新幹線八戸・新青森間における雪害対策の研究(2)ー降雪時の気象特性ー	野口守, 小林等(鉄道建設・運輸施設整備支援機構 東北新幹線建設局), 伊豫部勉○, 河島克久(新潟大学 災害復興科学センター), 飯倉茂弘, 藤井俊茂(鉄道総合技術研究所防災技術研究部)
P1-52	東北新幹線八戸・新青森間における雪害対策の研究(3)ースプリングラー散水消雪方式の適用性に関する基礎実験ー	野口守, 小林等(鉄道建設・運輸施設整備支援機構), 河島克久○(新潟大学), 飯倉茂弘, 藤井俊茂(鉄道総合技術研究所), 伊豫部勉(新潟大学)

計測技術

P1-53	画像処理による自動降雪粒子分類と降雪強度の解析	久保守○, 瀬戸一希, 惣元昭好(金沢大学大学院自然科学研究科), 椎名徹(富山工業高等専門学校), Karolina Nurzynska, 村本健一郎(金沢大学大学院自然科学研究科), 藤吉康志(北海道大学低温科学研究所)
P1-54	高分解能降雪強度計による長期降雪量解析	村本健一郎○, 惣元昭好, 瀬戸一希, 中村健二, 久保守(金沢大学大学院自然科学研究科), 椎名徹(富山工業高等専門学校), 藤吉康志(北海道大学低温科学研究所)
P1-55	レーザーと画像処理による積雪状況測定システムの研究	高田英治○(富山工業高等専門学校), 石丸民之永, 丸山敏介, 羽賀秀樹(新潟電機株式会社), 佐藤篤司(防災科学技術研究所), 小林俊一(新潟電機株式会社/新潟大学)
P1-56	南極氷床での広域観測を目的とした吹雪自動計測システムの開発1	石丸民之永○(新潟電機(株)), 西村浩一(名古屋大学大学院環境学研究科), 小林俊一(新潟電機(株)), 根本征樹, 小杉健二, 佐藤威(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所), 羽賀秀樹(新潟電機(株))
P1-57	CES 風洞装置用の降雪装置と地吹雪発生装置	阿部修○, 望月重人, 小杉健二, 根本征樹, 佐藤威(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)
P1-58	MRI によるぬれ雪中の水の分布撮像の試みー水頭の3次元撮像ー	安達聖○(筑波大学数理工学物質科学研究科), 尾関俊浩(北海道教育大学), 半田晋也(日本学術振興会特別研究員 PD), 繁木良介, 巨瀬勝美(筑波大学数理工学物質科学研究科)
P1-59	レーザーアブレーション質量分析による水中不純物分析法の開発ー真空型改良装置ー	高田守昌○, 伊藤義郎, 東信彦(長岡技術科学大学), 本間健一(長岡技術科学大学大学院)
P1-60	高熱伝導放熱管(SMTX 管)の熱伝達性能	齊田光○(福井大学), 奥山哲弘(積水化学工業株式会社), 藤本明宏, 福原輝幸(福井大学)

研究発表プログラム 4

9月30日（水）13:00～14:30

<K 講堂>口頭発表

氷床（座長：杉山 慎）		
K1-01	南極氷床ドームふじ深層コアにおける微粒子の化学組成－硫酸微液泡の発見－	櫻井俊光○(北海道大学大学院環境科学院), 飯塚芳徳(北海道大学低温科学研究所), 谷篤史(大阪大学大学院理学研究科), 内田努(北海道大学大学院工学研究科), 本堂武夫(北海道大学低温科学研究所)
K1-02	南極ドームふじ氷床コアによる氷期間氷期スケールの水溶性エアロゾルの主要組成変動	飯塚芳徳○(北海道大学低温科学研究所), 鈴木利孝(山形大学理学部), 櫻井俊光(北海道大学低温科学研究所), 平林幹啓, 三宅隆之, 本山秀明, 藤井理行(国立極地研究所), 本堂武夫(北海道大学低温科学研究所)
K1-03	南極ドームふじ積雪の化学成分の堆積後の変化	保科優○, 藤田耕史(名古屋大学大学院環境学研究科), 中澤文男(国立極地研究所), 飯塚芳徳(北海道大学低温科学研究所), 三宅隆之, 平林幹啓, 倉元隆之, 本山秀明(国立極地研究所)
K1-04	ドームふじの積層構造をもったフィルンの変態：気泡クローズアップの際にフィルン内のガス輸送が夏の地域日射により変調されるメカニズム	藤田秀二○(国立極地研究所), 奥山純一(北海道大学低温科学研究所), 堀彰(北海道大学低温科学研究所/北見工業大学), 本堂武夫(北海道大学低温科学研究所)
K1-05	南極・宗谷海岸沿岸の海底および露岩における氷食地形と氷成堆積物	澤柿教伸○(北海道大学地球環境科学研究所), 三浦英樹(国立極地研究所), 岩崎正吾(北見工業大学)
K1-06	A steady-state simulation of the Greenland ice-sheet using a three-dimensional full-Stokes model	Hakime Seddik○, Ralf Greve(北海道大学低温科学研究所), Thomas Zwinger(CSC – IT Center for Science Ltd.), Olivier Gagliardini(Laboratory of Glaciology and Environmental Geophysics, CNRS, UJF–Grenoble)
K1-07	MAIC-2, a Latitudinal Model for the Martian Surface Temperature, Atmospheric Water Transport and Surface Glaciation	Ralf Greve○(北海道大学・低温科学研究所), Bjoern Grieger(European Space Astronomy Centre (ESAC)), Oliver J. Stenzel(Max-Planck-Institute for Solar System Research)

9月30日（水）13:00～14:30

<B 小講堂>口頭発表

交通施設管理 I（座長：松澤 勝）		
B1-08	道路防雪林の多様な機能－特に道路周辺域へ及ぼす環境保全機能について－	斎藤新一郎(環境林づくり研究所)
B1-09	道路防雪林の生育不良要因について－道北地方における調査から－	下道純○, 高玉波夫(寒地土木研究所 道北支所), 松澤勝, 伊東靖彦(寒地土木研究所), 松島哲郎(室蘭開発建設部 室蘭道路事務所)
B1-10	東北地方における高速道路防雪林の現状と課題	阿部公一(株式会社ネクスコ・メンテナンス東北), 過信治(株式会社ネクスコエンジニアリング東北), 三浦勇希○(株式会社ネクスコ・メンテナンス東北)
B1-11	風力発電によるロードヒーティングの事後検証について	三浦真紀(国土交通省東北地方整備局), 大澤尚史, 齋藤清見, 西間木隆夫○(国土交通省東北地方整備局 郡山国道事務所)
B1-12	自然エネルギー活用の融雪施設設計要領の策定について	嶋津君雄○, 佐藤克彦(国土交通省東北地方整備局東北技術事務所)
B1-13	融雪施設上の残雪深と残雪時間	藤野丈志○(株式会社 興和), 上村靖司(長岡技術科学大学 機械系)
B1-14	冬期路面におけるすべり止め材の定着性向上に関する研究	佐藤圭洋○, 宮本修司, 徳永ロベルト((独)土木研究所 寒地土木研究所)

研究発表プログラム5

9月30日（水）14:30～15:30（掲示：13:00～15:30）

<A 第1会議室>ポスター発表2

降雪		
P2-01	日本における降雪深の変動の地域性と その要因	石井洋之〇(信州大学大学院工学系研究科)、 鈴木啓助(信州大学理学部)
P2-02	雪水災害発生予測のための気象予測実 験と地上観測の比較	本吉弘岐〇、中井専人、佐藤威、根本征樹、 佐藤篤司(防災科学技術研究所 雪水防災研 究センター)
P2-03	降水粒子の質量フラックスを考慮した 固体降水粒子の回帰判別	藤田学斗〇、天藤由季子(長岡技術科学大学 環境システム工学専攻 大学院生)、熊倉俊 郎(長岡技術科学大学環境・建設系 准教授)、 石坂雅昭(防災科学技術研究所雪水防災研究セ ンター総括研究者)
P2-04	光学式固体降水粒子観測器による雪・ あられ判別の試み	天藤由季子〇(長岡技術科学大学工学研究科 環境システム工学専攻)、熊倉俊郎(長岡技 術科学大学環境・建設系)、石坂雅昭(防災科 学研究研究所雪水防災研究センター)
P2-05	小型レーダと高分解能降雪強度計によ る降雪粒子タイプ別のZ-R 関係	椎名徹〇(富山工業高等専門学校)、惣元昭 好、瀬戸一希、中村健二、久保守、村本健一 郎(金沢大学大学院自然科学研究科)、藤吉康 志(北海道大学低温科学研究所)

雪崩		
P2-06	2008-2009 レクリエーショナルユーザ ーの雪崩事故	出川あずさ〇、池田慎二、五月女行徳、市川 昌(特定非営利活動法人日本雪崩ネットワー ク)
P2-07	トルコの雪崩について	Evgeny A. Podolskiy〇、西村浩一(名古屋大 学大学院環境学研究科)、和泉薫(新潟大学災 害復興科学センター)、Omer Murat Yavas(雪 崩防災センター、アンカラ、トルコ)
P2-08	2009 年 4 月 2 日に栃木県那須岳で発生 した雪崩	小杉健二〇、阿部修(防災科学技術研究所雪 水防災研究センター)
P2-09	2009 年 2 月にニセコ・ニトヌブリで発 生した乾雪表層雪崩	山野井克己〇(森林総合研究所北海道支所)、 杉山慎(北海道大学低温科学研究所)、大西人 史、高橋学察(北海道雪崩事故防止研究会)、 中村一樹(日本気象協会北海道支社)
P2-10	北アルプス雪崩記録計としてのオオシ ラビソ	若林隆三(アルプス雪崩研究所)
P2-11	中越震災地域での全層雪崩発生予測	上石勲〇、平島寛行、山口悟、佐藤篤司(防 災科学技術研究所雪水防災研究センター)、 町田敬(長岡技術科学大学〔連携大学院〕)
P2-12	雪崩発生時の斜面積雪の特徴	栗原靖〇、飯倉茂弘、鎌田慈、矢戸真也、高 橋大介(財団法人鉄道総合技術研究所)、河島 克久(新潟大学災害復興科学センター)
P2-13	レーザー計測データを用いた雪崩発生 域と非発生域の地形及び植生状況	富樫香流〇、伊藤陽一、石井靖雄(独立行政 法人土木研究所)、綱川浩章(三重県県土整備 部)、長谷川真英(国土交通省)、本間信一(国 際航業株式会社)
P2-14	地震計による雪崩検知と地震動との識 別手法の検討	伊藤陽一〇、富樫香流、石井靖雄(土木研究 所 雪崩・地すべり研究センター)
P2-15	切土小段の雪崩抑制効果に関する模型 実験	横山博之〇、松澤勝、松下拓樹、坂瀬修 (〔独〕土木研究所寒地土木研究所)、小杉健 二、上石勲(〔独〕防災科学技術研究所 雪水 防災研究センター)、吾田洋一、佐藤圭洋 (〔独〕土木研究所寒地土木研究所)
P2-16	雪中爆破による爆雪圧と発破騒音の計 測	町田敬〇、陸受蛟(長岡技術科学大学)、町田 誠(町田建設株式会社)、上石勲(防災科学技 術研究所 雪水防災研究センター)、早川典生 (町田建設株式会社)、佐藤篤司(防災科学技 術研究所 雪水防災研究センター)

教育・普及		
P2-17	高等学校での地学教育の現状	佐藤昇(大阪府教育センター)
P2-18	「雪のカリキュラム」開発研究への協 力	横山宏太郎〇(中央農業総合研究センター)、 伊藤親臣(〔財〕雪だるま財団)、上石勲(防災 科学技術研究所雪水防災研究センター)、永 井克行(上越科学館)
P2-19	レプリカにより観察した雪結晶の立体 構造	柳敏(北海道札幌真栄高等学校)
P2-20	ペットボトルを使った過冷却水生成装 置	藤野丈志(株式会社 興和)
P2-21	発表取り下げ	発表取り下げ
P2-22	APECS の活動紹介	Jenny Baeseman(トロムソ大学 APECS 事務局)、 APECS Executive Council(APECS Executive Council)、斉藤和之〇(アラスカ大学フェア バンクス校国際北極圏研究センター/独立行 政法人海洋研究開発機構地球環境変動領域)

建築と雪害		
P2-23	屋根雪を想定した乾いた積雪の静摩擦 係数と凍着力について	佐藤威〇、望月重人(防災科学技術研究所雪 水防災研究センター)
P2-24	積雪時における高層免震建物の地震応 答解析	永野康行、前田博司〇(福井工業大学)
P2-25	福井県における木造建物の耐雪性	前田博司(福井工業大学)
P2-26	高床式建物周囲の雪の吹きだまりに関 する基礎的研究ー建物間連絡通路の形 状が吹きだまりに与える影響ー	佐藤泰春〇(日本大学大学院理工学研究科 大学院生)、半貫敏夫(日本大学理工学部 教 授・工博)、阿部修(防災科学技術研究所・新 庄)
P2-27	降雪を考慮した太陽電池の設置技術に 関する研究	山本遥平〇、田中浩太(北海道工業大学環境 デザイン学科)、細川和彦(北海道工業大学都 市環境学科)、苫米地司(北海道工業大学建築 学科)
P2-28	雪室をビルトインした住宅における空 調性能試験その 4ー経済性と総合評価 ー	上村靖司、室地戸謙介〇(長岡技術科学大 学)、伊藤親臣(財団法人雪だるま財団)
P2-29	除雪作業中の事故の F T A 分析	上村靖司、五明田優希〇(長岡技術科学大学)

研究発表プログラム6

雪氷化学		
P2-30	南極沿岸からドームふじルート上における表面積雪の化学成分の季節特性	倉元隆之○, 平林幹啓, 本山秀明(国立極地研究所)
P2-31	東南極表面積雪の金属濃度およびSr-Nd 同位体比分析	平林幹啓○, 倉元隆之, 本山秀明(国立極地研究所), 中井俊一(東京大学地震研究所), 田中敦(国立環境研究所)
P2-32	第2期ドームふじ氷床コアの化学成分分析用試料の前処理方法の検討	三宅隆之○, 平林幹啓(国立極地研究所), 植村立(国立極地研究所/Laboratoire des Sciences du Climat et l'Environnement, France), 東久美子, 本山秀明(国立極地研究所)
P2-33	氷河試料中のマツ属花粉1粒ずつのDNA分析	中澤文男○, 植竹淳(国立極地研究所), 陶山佳久(東北大学), 竹内望(千葉大学), 藤田耕史(名古屋大学), 神田啓史(国立極地研究所)
P2-34	カムチャツカ・イチンスキーアイスコア中の水素安定同位体比の負のピークの解釈	的場澄人○(北海道大学低温科学研究所), 對馬あかね, 佐々木央岳(北海道大学大学院環境科学院), Yaroslav D. Muravyev(ロシア科学アカデミー火山地震研究所), 白岩孝行(総合地球環境学研究所)
P2-35	流跡線解析を用いたアラスカ・ランゲル山雪氷コア中の鉄フラックス変動の評価	佐々木央岳○(北海道大学大学院環境科学院), 的場澄人(北海道大学低温科学研究所), 白岩孝行(総合地球環境学研究所)
P2-36	積雪中のクロロフィル(葉緑素)濃度の時間変化と地域比較〜上越地方, 十日町, 北見市	竹内望○(千葉大学理学部地球科学科), 横山宏太郎(農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター), 竹内由香里(森林総合研究所十日町試験地), 亀田貴雄(北見工業大学社会環境工学科), 佐藤和秀(国立長岡工業高等専門学校)
P2-37	富山県における大気、降水、露水中の過酸化水素濃度	渡辺幸一○, 江田奈希紗, 青木美貴子, 齋藤由紀子(富山県立大学)
P2-38	立山・室堂平における積雪層中の過酸化水素濃度 (I)	青木美貴子○, 江田奈希紗, 齋藤由紀子(富山県立大学), 上原佳敏(九州大学), 渡辺幸一(富山県立大学)

氷河

P2-39	アジアの3つの氷河におけるクリオコナイト粒の比較	西山大陸○, 竹内望(千葉大学大学院理学研究科)
P2-40	ロシア・アルタイ山脈ペルーハ氷河アイスコア中の気泡に着目した層位解析	岡本祥子○, 藤田耕史(名古屋大学大学院環境学研究科), 成田英器(NPO 法人雪氷ネットワーク), 植竹淳(国立極地研究所), 竹内望(千葉大学理学研究科), 三宅隆之, 中澤文男(国立極地研究所), Vladimir Aizen(アイダホ大学), Stanislav Nikitin(トムスク大学), 中尾正義(人間文化研究機構)
P2-41	アジアの山岳氷河のアイスコア中に含まれる固体粒子の特性	石田依子○, 竹内望(千葉大学大学院理学研究科)
P2-42	アラスカ、グルカナ氷河における好冷性酵母群集について	植竹淳○(新領域融合センター/国立極地研究所), 永塚尚子(千葉大学大学院 理学研究科 地球生命圏科学専攻), 吉村義隆(玉川大学 農学部 生命化学科)
P2-43	溶存無機炭素を利用した氷河水の放射性炭素年代測定	福井幸太郎○, 飯田肇(立山カルデラ砂防博物館), 曽根敏雄(北海道大学低温科学研究所)
P2-44	モンゴル・ツァンバガラフ山塊氷河調査始末記	門田動○(独)海洋研究開発機構), Davaa Gombo, Purevdagva Kalsan(モンゴル気象水文研究所)
P2-45	マッコール氷河における表面質量収支と内部温度変化	日下稜○, 高橋修平(北見工業大学)
P2-46	南パタゴニア氷原ベリート・モレノ氷河動態観測—2008/2009年観測報告—	榎本浩之○(北見工業大学社会環境工学科), 内藤望(広島工業大学地球環境学科), 杉山慎(北海道大学 低温科学研究所), 津滝俊(北海道大学 環境科学院), 福田明(静岡大学), 安仁屋政武(筑波大学), 磯野真滋(静岡大学大学院工学研究科), Pedro Skvarca(アルゼンチン南極研究所)
P2-47	スイス・ローヌ氷河における氷河湖成長と氷河後退への影響	津滝俊○(北海道大学大学院環境科学院), 杉山慎(北海道大学低温科学研究所)
P2-48	ヒマラヤ山脈における氷河湖の形成条件	坂井亜規子○, 藤田耕史(名古屋大学大学院環境学研究科)
P2-49	2000年モンゴル氷河台帳	矢吹裕伯(独)海洋研究開発機構)

気象水文

P2-50	アジア寒冷圏データアーカイブプロジェクトの紹介	矢吹裕伯○, 大畑哲夫((独)海洋研究開発機構)
P2-51	1978年から2002年における中国祁連山域からの流出と氷河平衡線高度の復元	坂井亜規子○, 藤田耕史(名古屋大学大学院環境学研究科), 奈良間千之, 窪田順平(総合地球環境学研究所), 中尾正義(人間文化研究機構), 姚檀棟(中国科学院チベット研究所)
P2-52	北海道大雪山永久凍土帯における時空間熱分布の評価	前田剛宏○, 新井秀典(北海道大学大学院環境科学院), 岩花剛, 石川守(北海道大学大学院地球環境科学研究院)
P2-53	北海道大雪山永久凍土帯における水循環要素の定量化	新井秀典○, 前田剛宏(北海道大学大学院環境科学院), 石川守, 岩花剛, 杉本敦子(北海道大学大学院地球環境科学研究院)
P2-54	群馬県草津町水谷における天然氷の形成過程と保存機構について	山口健太郎○(新潟大学大学院自然科学研究科), 和泉薫, 河島克久, 松元高峰(新潟大学災害復興科学センター)
P2-55	根雪開始の熱収支 I	兒玉裕二○(北海道大学低温科学研究所), 青木輝夫(気象研究所)
P2-56	流出解析モデルHYDREEMSによる融雪出水予測の評価	朝岡良浩○, 豊田康嗣(財団法人 電力中央研究所), 竹内由香里(独立行政法人 森林総合研究所 十日町試験地)
P2-57	簡便な融雪-積雪層浸透モデルを用いた積雪底面流出量の推定—2種類の積雪層浸透モデルの比較—	松元高峰○, 河島克久(新潟大学災害復興科学センター), 外狛麻子, 島村誠(東日本旅客鉄道株式会社)

海水・湖水、衛星観測

P2-58	“御神渡り現象”発生ライン両側に出現する Vapor Figureの形成について	東海林明雄(湖沼雪氷研究所)
P2-59	オホーツク海南西部の海水と知床半島ウトロの気象条件	小杉知史○, 高橋修平, 堀彰(北見工業大学)
P2-60	海水上積雪におけるマイクロ波放射特性に関する研究	吉川真由子○(千葉大学大学院理学研究科), 直木和弘(宇宙航空研究開発機構地球観測研究センター), 館山一孝, 榎本浩之(北見工業大学), 西尾文彦(千葉大学環境リモートセンシング研究センター)
P2-61	薄い海水域におけるマイクロ波輝度温度と衛星データの比較	直木和弘○(宇宙航空研究開発機構地球観測研究センター), 浮田甚郎(新潟大学理学部), 中山雅茂(北翔大学生涯学習システム学部), 吉川真由子, 西尾文彦(千葉大学環境リモートセンシング研究センター)
P2-62	マイクロ波放射計 AMSR-E を用いた北極海航路の通過可能性の解析	柴田啓貴○, 館山一孝, 榎本浩之(北見工業大学)
P2-63	ALOS PALSAR を用いた白瀬氷河の流速推定結果における季節変動と年々変動	中村和樹○(産業技術総合研究所), 土井浩一郎, 澁谷和雄(国立極地研究所)
P2-64	衛星画像を用いた斜面積雪特性の分類	三宅俊子○(千葉大学大学院理学研究科), 大前宏和(株式会社センテシア), 中村和樹(独立行政法人 産業技術総合研究所), 西尾文彦(千葉大学環境リモートセンシング研究センター)

研究発表プログラム7

10月1日（木）9:15～12:00

<K 講堂>口頭発表

氷河Ⅰ（座長：中澤文男、紺屋恵子）		
K2-01	ネパールヒマラヤ、ヤラ氷河の1990年代から2008年の雪氷生物群集の変化	竹内望〇、石田依子(千葉大学大学院理学研究科地球科学コース)
K2-02	キルギス天山山脈グロリア氷帽のアイスコア中の花粉の分析と年代決定	世良峻太郎〇、竹内望(千葉大学大学院理学研究科)、藤田耕史、岡本祥子(名古屋大学環境学研究科)、直木和弘(宇宙航空研究開発機構)、Vladimr Aizen(アイダホ大学)
K2-03	アジア・アラスカの山岳氷河上の鉱物粒子および有機物のSr、Nd同位体比	永塚尚子〇(千葉大学大学院理学研究科)、中野孝教(総合地球環境学研究所)、竹内望(千葉大学大学院理学研究科)
K2-04	Landsat 衛星画像を使った中国新疆ウイグル、天山山脈の氷河表面反射率と表面ダストの空間分布の解析	Abake Guljianati〇、竹内望、西尾文彦(千葉大学大学院理学研究科地球科学コース)
K2-05	多時期のデジタル地形データ(DEM)を用いた、氷河表面高度の時間的・空間的な変動の解析	縫村崇行〇、藤田耕史(名古屋大学大学院環境学研究科)、山口悟(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)、Rishi Sharma(ネパール水文気象局)
K2-06	スイス・ローヌ氷河末端部における表面融解量の空間分布	吉澤猛〇(北海道大学大学院 環境科学院)、杉山慎(北海道大学 低温科学研究所)、Matthias Huss(スイス連邦工科大学)
K2-07	傾斜計によるスイスアルプス・ローヌ氷河末端部の掘削孔変形観測	西村大輔〇、津滝俊(北海道大学 環境科学院)、杉山慎(北海道大学 低温科学研究所)
K2-08	バタゴニア・ペリトモレノ氷河における日周期流動速度変化	杉山慎〇(北海道大学 低温科学研究所)、津滝俊(北海道大学 低温科学研究所/北海道大学 環境科学院)、内藤望(広島工業大学 地球環境学科)、榎本浩之(北見工業大学 社会環境工学科)、Pedro Skvarca(アルゼンチン南極研究所 氷河学部)
K2-09	アラスカ・オーロラピークの水コア掘削地における氷河流動数値モデル	福田武博〇(北海道大学環境科学院)、杉山慎(北海道大学低温科学研究所)、白岩孝行(総合地球環境学研究所)、的場澄人(北海道大学低温科学研究所)
K2-10	南米バタゴニア氷原で発生した氷河湖決壊洪水	安仁屋政武
K2-11	ヒマラヤにおける氷河湖の危険度再評価	藤田耕史(名古屋大学)

10月1日（木）9:15～12:00

<A 第1会議室>口頭発表

交通施設管理Ⅱ（座長：福原輝幸、高橋尚人）		
A2-01	多雪地域対応型スノーブラウの開発研究(その2)	鎌田慈〇(鉄道総合技術研究所)、矢戸真也、遠藤徹、高橋大介、飯倉茂弘、中嶋大智(鉄道総合技術研究所)
A2-02	除雪機械のリアルタイムな位置情報を活用した除雪工区の弾力的な運用システムの開発	佐々木憲弘〇、牧野正敏(独立行政法人土木研究所寒地土木研究所)、小野寺敬太、豊島真生(国土交通省北海道開発局)
A2-03	除雪幅員と走行速度に関する分析検討について	赤平勝也、岩淵伸哉〇(国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所 調査第二課)
A2-04	冬季道路における路面温度の路線予測可能性について	堀井雅史(日本大学工学部)
A2-05	多極平板型冬期道路気象観測装置の開発とその特質(1)―熱収支観測の検証―	山田忠幸、杉森正義〇(山田技研(株))、竹内正紀(元福井大学工学部)、永井二郎(福井大学工学部)、石坂雅昭(独)防災科学研究所雪氷防災研究センター)
A2-06	車載型路面凍結検知システムの試作開発	Alimasi nuerasimugulio〇(北見工業大学大学院工学研究科 大学院生)、高橋修平(北見工業大学 教授・理博)
A2-07	マイクロ波放射計を用いた冬季路面状態判別方法の開発	渡邊直樹〇、榎本浩之(北見工業大学)、田中聖隆、山本朗人(三菱電機特機システム株式会社)、佐々木亮介、高橋修平(北見工業大学)
A2-08	センシングテクノロジータイヤによる路面状態判別―冬季道路管理への活用―	花塚素史〇、森永啓詩、若尾泰通(株)ブリヂストン)

A2-09	冬期路面状態評価技術に関する試験研究―連続路面すべり抵抗値測定装置の測定タイヤ比較試験―	切石亮〇((独)土木研究所寒地土木研究所)、舟橋誠(国土交通省北海道開発局)、徳永ロベルト、高橋尚人((独)土木研究所寒地土木研究所)
A2-10	連続路面すべり抵抗測定装置による雪氷路面のすべり抵抗	藤本明宏〇、齊田光、福原輝幸(福井大学大学院工学研究科)
A2-11	冬期路面状態が交通特性に及ぼす影響	高橋尚人〇、徳永ロベルト、浅野基樹((独)土木研究所寒地土木研究所)

10月1日（木）9:15～12:00

<B 小講堂>口頭発表

着氷雪、吹雪（座長：富永禎秀、杉浦幸之助）		
B2-01	鉄道用信号機の着雪防止対策	五十嵐勉、平野徹〇(東日本旅客鉄道(株))、佐藤篤司(雪氷防災研究センター)、本田雅彦((株)ニーズプロダクト)
B2-02	構造物の着雪現象に関する研究―その3 部材表面の粗度が着雪性に及ぼす影響―	苫米地司〇、西村清志、田中康裕、千葉隆弘(北海道工業大学建築学科)、佐藤威(防災科学技術研究所)、堤拓哉(北海道立北方建築総合研究所)
B2-03	吹雪の風下への発達に関する野外観測	佐藤威〇、根本征樹(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)、鳥田宏行(北海道立林業試験場)、堤拓哉(北海道立北方建築総合研究所)、大廣智則((株)ネクスコ・エンジニアリング北海道)
B2-04	実大モデルを用いた建物周囲における吹きだまりの観測	堤拓哉〇(北海道立北方建築総合研究所)、苫米地司、千葉隆弘(北海道工業大学)
B2-05	一度の吹雪による最大吹雪量の近年の傾向	松澤勝〇、伊東靖彦、上田真代((独)土木研究所 寒地土木研究所 雪氷チーム)
B2-06	吹雪粒子の昇華蒸発速度の見積もり	大宮哲〇(北海道大学大学院 環境科学院)、佐藤篤司、小杉健二、望月重人(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)
B2-07	降雪時における風の構造と吹雪の発達過程	根本征樹〇、佐藤威、小杉健二、望月重人(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)
B2-08	吹雪における粒子跳躍高さに関する単純化された数値解析	小杉健二〇、佐藤威、根本征樹(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
B2-09	風洞実験と数値モデルによる吹雪の素過程の解明 1―風による粒子の取り込み過程について―	鈴木貴〇(パシフィックコンサルタンツ株式会社)、根本征樹、小杉健二、佐藤威、望月重人(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)、西村浩一(名古屋大学大学院環境学研究科)
B2-10	建物周辺の非平衡流中の飛雪現象のモデル化(その5)―Saltation 発達過程の境界層の飛雪流量の空間分布に関する風洞実験結果の一般性の確認―	伊藤優〇(東北大学大学院工学研究科)、富永禎秀(新潟工科大学工学部)、持田灯(東北大学大学院工学研究科)、根本征樹((独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)、大風翼、吉野博(東北大学大学院工学研究科)、佐藤威((独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
B2-11	建物周辺の非平衡流中の飛雪現象のモデル化(その6)―吹雪境界層中の吹雪粒子が乱流エネルギーへ及ぼす影響の検討―	大風翼〇、伊藤優(東北大学大学院工学研究科)、富永禎秀(新潟工科大学工学部)、持田灯(東北大学大学院工学研究科)、根本征樹、佐藤威((独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)、吉野博(東北大学大学院工学研究科)

研究発表プログラム 8

10月2日（金）9:15～12:00

<K 講堂>口頭発表

氷河Ⅱ、気候変動、凍土・凍上（座長：亀田貴雄、岩花 剛）		
K3-01	カムチャツカ半島ウシュコフスキー山 アイスコアによる過去の氷河涵養量復元と同位体比の解析	佐藤建〇（北海道大学大学院環境科学院）、白岩孝行（総合地球環境学研究所）、Ralf Greve（北海道大学低温科学研究所）、Thomas Zwinger（CSC - IT Center for Science）、Hakime Seddik（北海道大学低温科学研究所）
K3-02	モンゴル西部・Potanin氷河の質量収支変動とその要因	紺屋恵子〇、門田勲、矢吹裕伯、大畑哲夫（海洋研究開発機構）
K3-03	アンデス熱帯氷河調査報告	水津重雄〇、大鹿祐介（株式会社 地球システム科学）
K3-04	過去 500 万年間にわたる東南極氷床変動と全球的気候変動	山根雅子〇（東京大学大学院理学系研究科/東京大学海洋研究所）、横山祐典（東京大学大学院理学系研究科/東京大学海洋研究所/海洋研究開発機構地球内部変動研究センター）
K3-05	領域気候モデルの出力を用いた阿賀野川流出過程の数値実験	馬兼鈔〇、吉兼隆生、原政之（独）海洋研究開発機構地球環境変動領域、木村富士男（独）海洋研究開発機構地球環境変動領域/筑波大学）
K3-06	年最低気温の経過に関する一考察	永田泰浩〇、石本敬志（日本気象協会北海道支社）、川村文芳、金田安弘（北海道開発技術センター）、齋藤佳彦（雪研スノーイーターズ）
K3-07	全球気候モデル表面気温から見た第四紀後期の凍土分布	斉藤和之〇（アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター/独立行政法人海洋研究開発機構地球環境変動領域）、Sergey Marchenko、Vladimir Romanovsky（アラスカ大学フェアバンクス校地球物理学研究所）、Nancy Bigelow（アラスカ大学フェアバンクス校アラスカ第四紀学センター）、吉川謙二（アラスカ大学フェアバンクス校水文環境研究センター）、John Walsh（アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター）
K3-08	ユーラシア永久凍土帯南限モンゴルにおける永久凍土観測網	石川守〇（北海道大学）、Ya Jambaljav（モンゴル科学アカデミー地理学研究所）、大畑哲夫（海洋研究開発機構）
K3-09	DSC（示差走査熱量測定）による多孔質体中の不凍水量に関する研究	牛膺直之〇（北海道大学大学院公共政策学教育部）、岩花剛（北海道大学大学院地球環境科学研究院）
K3-10	アイスレンズの融解に関する凍上理論－アイスレンズ融解面の動的状態式－	宮田嘉明（FEAM 研究所）
K3-11	凍上による法面浸食防止について	阿部孝幸（KTB 協会 技術員）
K3-12	特許に見る「凍上」	東海林更二郎

10月2日（金）9:15～12:00

<A 第1会議室>口頭発表

雪崩（座長：小杉健二、伊藤陽一）		
A3-01	2008・2009 年新潟県湯沢町芝原での全層雪崩発生に関する考察	早川典生〇、町田誠、松井富栄、岩崎剛（町田建設株式会社）、町田敬（長岡技術科学大学）
A3-02	平成 21 年「小雪」と新潟県南魚沼地方におけるスキー場で起きた雪崩	町田誠〇、岩崎剛、松井富栄、早川典生（町田建設株式会社）、町田敬（長岡技術科学大学）
A3-03	妙高・幕の沢で発生した表層雪崩の運動解析－Titan2D を用いた数値計算と地震動のウェーブレット解析－	西村浩一〇（名古屋大学大学院環境学研究科）、竹内由香里（森林総合研究所十日町試験地）
A3-04	妙高・幕ノ沢の大規模表層雪崩によるスギ林の倒壊状況と雪崩速度の推定	竹内由香里〇（森林総合研究所十日町試験地）、鳥田宏行（北海道立林業試験場）、西村浩一（名古屋大学大学院環境学研究科）、坂本知己（森林総合研究所）、萩野裕章（森林総合研究所九州支所）、後藤義明（森林総合研究所）、村上茂樹（森林総合研究所十日町試験地）、遠藤八十一（国際雪形研究会）
A3-05	海外で日本人が被災した雪崩災害（1）－カナダにおける日系移民の雪崩被災－	和泉薫〇（新潟大学災害復興科学センター）、藤村知明（ファーマースキー場）
A3-06	面発生乾雪表層雪崩と点発生乾雪表層雪崩の間	竹内政夫（NP0 雪氷ネットワーク）

A3-07	雪崩予防柵を斜面積雪がすり抜ける現象に関する実験－すり抜け現象の発生機構と対策効果について－	松下拓樹〇、松澤勝、坂瀬修（独）土木研究所 寒地土木研究所）、大槻政哉、齋藤佳彦（株）雪研スノーイーターズ）
A3-08	模型実験による雪崩の流動距離と衝撃力の計測	小田憲一〇、八嶋厚、沢田和秀、森口周二、山川大貴（岐阜大学）、佐藤篤司、上石勲（防災科学技術研究所）、町田敬（長岡技術科学大学）
A3-09	地震が誘発する雪崩に関する実験的研究	Evgeny A. Podolskiy〇（名古屋大学大学院環境学研究科）、阿部修（雪氷防災研究センター新庄支所）、西村浩一（名古屋大学大学院環境学研究科）、Pavel A. Chernous（雪崩防災センター、アパチツ）、新堀邦夫（北海道大学低温研究所）
A3-10	気象データから分析した雲粒なし降雪結晶による積雪内の弱層形成について	中村一樹〇（日本気象協会北海道支社 情報事業課）、中林宏典（日本気象協会北海道支社防災環境事業課）、秋田谷英次（NP0 法人雪氷ネットワーク）
A3-11	スラッシュ雪崩発生時における高層天気図の特徴	三輪賢志、永井健二（国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所）、小川紀一郎、佐野寿聰〇、高橋秀明（アジア航測株式会社）

10月2日（金）9:15～12:00

<B 小講堂>口頭発表

雪氷物理、教育・普及（座長：島田 互、内田 努、油川英明）		
B3-01	オホーツク海サハリン沖天然ガスハイドレートの結晶特性	八久保晶弘〇、小関貴弘、奥田充、坂上寛敏、南尚嗣、庄子仁（北見工業大学）、Young K. Jin（韓国 極地研究所）、Anatoly Obzhirev（ロシア科学アカデミー太平洋海洋学研究所）
B3-02	人エタノールハイドレート生成時におけるメタン安定同位体分別の温度依存性	小関貴弘〇、八久保晶弘、坂上寛敏、南尚嗣、庄子仁（北見工業大学）
B3-03	メタン・エタン混合ガスハイドレートから水+ガスへの解離熱	奥田充〇、八久保晶弘、坂上寛敏、庄子仁（北見工業大学）
B3-04	メタン・エタン混合ガスハイドレートの自己保存効果	内田努〇（北海道大学大学院工学研究科応用物理学専攻）、木田真人、長尾二郎（独）産業技術総合研究所メタンハイドレート研究センター生産技術開発チーム）
B3-05	TBAB ハイドレート結晶の核生成メモリー効果－水溶液の濃度効果－	島田互〇（富山大学大学院理工学研究部（理学））、大島基（富山大学理学部）
B3-06	低温雲箱を用いたエアロゾルの氷晶核化能力測定	加藤孝春〇（富山大学大学院理工学教育部（理学）大学院生）、島田互（富山大学大学院理工学研究部（理学））
B3-07	カーリング・ストーンがカールするメカニズム－蒸発摩耗モデル－	前野紀一（北海道大学名誉教授）
B3-08	中谷ダイアグラムに関する雪結晶の液相成長仮説を基にした考察	油川英明（北海道教育大学札幌校）
B3-09	オゾン氷の新製法に関する研究	奥山純一〇（株式会社 IHI）、宮本淳（北海道大学）、斉田進一、小谷野康充、尾崎誠（IHI プラント建設株式会社）
B3-10	北海道の高校における除雪ボランティア	須田力〇（北方圏体育・スポーツ研究会）、森田勲（北海道医療大学）
B3-11	技術展示会における「雪と氷の実験室」	坂東和郎〇、藤野文志（株式会社 興和）
B3-12	雪氷実験を中心とした授業プランについて	平松和彦（北海道旭川東高等学校・定時制課程）

研究発表プログラム9

10月2日（金）13:00～15:30

<A 第1会議室>口頭発表

積雪の構造・物理（座長：竹内由香里、荒川逸人）		
A3-12	ブッシュゲージ直径の違いによる積雪硬度への影響	坂瀬修〇、横山博之、松澤勝、松下拓樹、吾田洋一、佐藤圭洋（独）土木研究所 寒地土木研究所
A3-13	携帯式荷重計による比表面積と固有透過度の推定	荒川逸人〇（野外科学株式会社/新潟大学大学院自然科学研究科）、和泉薫、河島克久（新潟大学災害復興科学センター）、河村俊行（北海道大学低温科学研究所）
A3-14	簡易密度測定器の提案	横山博之〇、松下拓樹、松澤勝、坂瀬修、吾田洋一、佐藤圭洋（独）土木研究所 寒地土木研究所
A3-15	ペーンの回転速度が積雪の剪断強度に及ぼす影響	吾田洋一〇、松澤勝、横山博之、布施浩司、松下拓樹、坂瀬修（独）土木研究所 寒地土木研究所）、阿部修（独）防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所）
A3-16	等温変態下におけるしもざらめ雪の剪断強度の回復実験	阿部修〇（独）防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所）、平島寛行（独）防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）、望月重人（独）防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所）
A3-17	雪粒同士の結合が弱い湿雪の粘着力と内部摩擦角の測定	上石勲〇（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）、町田敬（長岡技術科学大学（連携大学院））、小田憲一（岐阜大学工学研究科）、山口悟、佐藤篤司（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）
A3-18	融雪期における斜面積雪観測の必要性ー平地と斜面の積雪性状の比較からー	河島克久〇、松元高峰（新潟大学 災害復興科学センター）、外狩麻子、島村誠（東日本旅客鉄道株式会社 研究開発センター）
A3-19	人工降雪装置を用いた雪えくぼ発生と融雪水の挙動の観察	茂木智行〇（富山大学大学院理工学教育部（理学））、山口悟、望月重人（防災科学研究所雪氷防災研究センター）、島田亙（富山大学大学院理工学研究部（理学））、川田邦夫（富山大学理学部 名誉教授）
A3-20	札幌市における歩道雪氷路面観測（2008-2009 冬期）	金田安弘〇、川村文芳（社）北海道開発技術センター）、永田泰浩、石本敬志（財）日本気象協会北海道支社）、成田英器（NOP 法人 雪氷ネットワーク）

10月2日（金）13:00～15:30

<B 小講堂>口頭発表

寒冷圏水循環、積雪分布、海水（座長：兒玉裕二、高橋修平）		
B3-13	シベリアにおける融雪水効果による地表面大気変動	松村伸治〇、山崎孝治（北海道大学大学院地球環境科学研究院）
B3-14	モンゴル Tuul 川上流域における総積雪水量の経年変動ー2002 年から 2009 年の積雪調査ー	杉浦幸之助〇、門田動、飯島慈裕、紺屋恵子、Yinsheng Zhang（海洋研究開発機構）、石川守（海洋研究開発機構/北海道大学大学院）、山崎剛（東北大学大学院）、Khalzan Purevdagva、Gombo Davaa（Institute of Meteorology and Hydrology）、大畑哲夫（海洋研究開発機構）
B3-15	大雪山「雪壁雪渓」の変動とその要因	高橋修平〇、亀田貴雄、榎本浩之（北見工業大学）
B3-16	北アルプス立山における積雪分布の季節変化に関する研究	佐竹智樹〇、藤田耕史（名古屋大学大学院環境学研究科）、飯田肇、福井幸太郎（立山カルデラ砂防博物館）、川田邦夫（富山大学 名誉教授）
B3-17	地中探査レーダー（GPR）による知床峠の積雪観測 2009	木下陽介〇、高橋修平（北見工業大学）、浜名裕司（石川島建材工業株式会社）
B3-18	中程度分解能衛星データを用いた日本列島の積雪分布データの作成および公開	堀雅裕〇、村上浩（宇宙航空研究開発機構地球観測研究センター）
B3-19	可搬型マイクロ波放射計による積雪深算出に及ぼす森林の影響	佐々木孔明〇、榎本浩之、館山一孝（北見工業大学）

B3-20	海水域の破壊・氷盤追跡から見た海水変動の監視ーAMSR-E による北極海の観測からー	榎本浩之〇（北見工業大学）、堀雅裕（地球観測センター 宇宙航空研究開発機構）、山崎哲秀（北極圏環境調査プロジェクト）、柴田啓貴（北見工業大学）、館山一孝（北見工業大学）
B3-21	夏季北極海氷上における Melt Pond が熱収支に及ぼす影響	田中康弘〇、館山一孝、榎本浩之（北見工業大学）

10月2日（金）13:00～15:30

<C 第3会議室>口頭発表

建築と雪害（座長：沼野夏生、谷口尚弘）		
C3-01	積雪地における高齢者に対応した住宅の必要な機能に関する一考察	松村光太郎（宮城学院女子大学）
C3-02	雪国の公営住宅における集会所の雪対策に関する研究ー北海道、青森県、新潟県の公営住宅を事例としてー	鳥山香織〇、月館敏栄（八戸工業大学大学院工学研究科）
C3-03	屋根形態による雪堆積可能面積の検討ー積雪地における敷地内の雪堆積可能面積に関する研究 その1ー	谷口尚弘〇（北海道工業大学建築学科）、湯川崇（北海道工業大学大学院建設工学専攻）、苔米地司（北海道工業大学建築学科）
C3-04	前面雪堆積可能面積（FS）と諸要因との関係ー積雪地における敷地内の雪堆積可能面積に関する研究 その2ー	湯川崇〇（北海道工業大学大学院建設工学専攻）、谷口尚弘、苔米地司（北海道工業大学建築学科）
C3-05	冷水流下による対流・放射複合空調システムの開発その2ー除塵・脱臭効果の測定ー	上村 靖司〇、宝地戸 謙介、宮田和亮（長岡技術科学大学）
C3-06	東北地方における自治体の雪対策の現状と課題ー豪雪地帯基礎調査集計結果表をもとにー	沼野夏生（東北工業大学工学部）
C3-07	雪害による犠牲者の特徴と対策のポイントー平成 19 年度冬期の雪害事故分析よりー	諸橋和行（財団法人日本システム開発研究所）
C3-08	福島県における雪害に関する基礎的研究ー福島県における近年の雪害状況ー	山形敏明〇（郡山女子大学）、細川和彦、苔米地司（北海道工業大学）

